



第 74 回クラス幹事会

開催日時： 平成 31 年 3 月 23 日 (土) 15:30
～18:10

場 所： 横国大 海洋棟 3 階 302 室
(製図室横)

出席者： 講演講師、事務局含め 22 名

珠久会長の開催挨拶に続きミニ講演会、事務局報告、自由討議を実施。

1. ミニ講演「船体折損の事故原因調査と海事行政への反映」

講演者： 角 洋一氏

(横浜国立大学名誉教授、昭和 46 年卒)

講演概要： 前回(第 73 回)のクラス幹事会では、過去約 100 年間に発生した主要な船の折損事故の歴史を辿って、発生事例のご紹介があった。今回は、前回講演時間の制約から、十分解説いただけなかった折損事故調査の方法、その後の国際海事機関 (IMO) での条約改正や船級規則の改正などへの反映についてご講演を頂いた。

角氏が直接事故調査に携わった重油タンカー「Nakhodka」折損沈没事故 (1997 年) と大型コンテナ船「MOL Comfort」折損沈没事故の 2 例について特に詳しくご紹介があり、これらの事故原因調査を通じて、耐疲労鋼や耐腐食性鋼材などの開発、海水バラストタンクにおける防食技術が注目され、老朽船に対する船舶管理 (Port State Control) に重点が置かれる様になり、板厚損耗状態の計測方法や塗装状態の確認方法などが IMO で管理される様になったこと、また IACS に対して統一的な船級規則づくりを要請するに至ったことが解説された。

講演の動画 (限定公開) :

<https://youtu.be/JL0hfGd4078>

2. 事務局報告

- ・ 校友会、名教自然会の活動…珠久会長
名教自然会から推薦していた鳥養鶴雄氏 (昭和 28 年卒) が、平成 30 年度プラウド卒業生を受賞したことが報告された。
- ・ 教室創設 100 周年に向けて…珠久会長
2029 年の教室創設 100 周年に向けて、2019 年度から少額の寄付金を募るなど、準備を進めていく方針案が示された。
- ・ 教室の近況…川村教授
平成 31 年卒業者の進路として、就職 17 名、大学院進学 19 名との報告があった。
- ・ 会報第 59 号…入江理事
目次案の説明があった。表紙は「日本丸」ドライドック時の全体写真を使用する。
- ・ 地域交流
2019 年は阿部副会長が名古屋地区を訪問する予定と報告された。



3. 自由討議

- ・ 会員名簿の電子化について
2019 年 1 月に弘陵造船航空会 HP 上に公開された会員名簿は特に問題なく運用が開始された。名簿データの更新は、クラス幹事を通じて年 1 回の割で調査されるが、個人単位での事務局への連絡でも受け付けることを周知する。
- ・ 会員相互の連携強化について
同期会に大学時代の恩師を定期的にお呼びしている例が複数紹介され、大学の先生をコアとし

た研究活動や、研究室単位で趣味を含めた任意の集まりがあると年次を超えた卒業生相互の交流の輪が広がるようだ。

若い世代は、幅広い業界へ就職しているので、同窓会における話題が多岐にわたり、新鮮な情報に接する場が期待されるが、参集者が少ない問題がある。

毎月発行されるメルアドでは、卒業生の共通の話題となる先生の最近の活動などを掲載すると良いのではとの意見があった。



第 74 回クラス幹事会会場